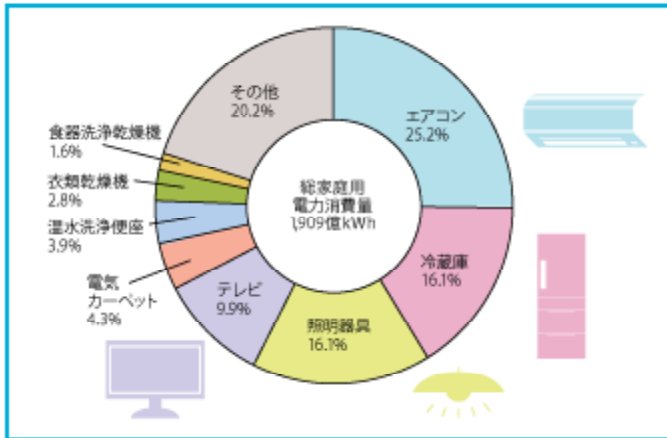


今こそ始めよう！ かしこく

節電

家電製品別の消費電力量の比較



出典：資源エネルギー庁 平成16年度電力需給の概要

環境省ホームページより引用 <http://www.challenge25.go.jp/setsuden/>

家庭の電気はどこで使われているでしょうか？できる所から始めるのはもちろん、効果の高い所を重点的に減らすのも良い方法です。どこを節電すれば「かしこく」減らせるのか、考えてみませんか？

効果的な節電

エアコン（暖房）を控えめに … 419Wh

カーテンを閉めて保温する …… 100Wh

窓に断熱シートを貼る …… 232Wh

テレビを消してラジオを聞く … 150Wh*

衣類乾燥機や機能を使わない … 912Wh



上記数値はJCCCA公開資料 <http://www.jccca.org/about/works/setuden21.html> より。ただし*印は当会計算（32型液晶テレビを止めて据置型CDラジオを使う場合で計算）。

停電対策

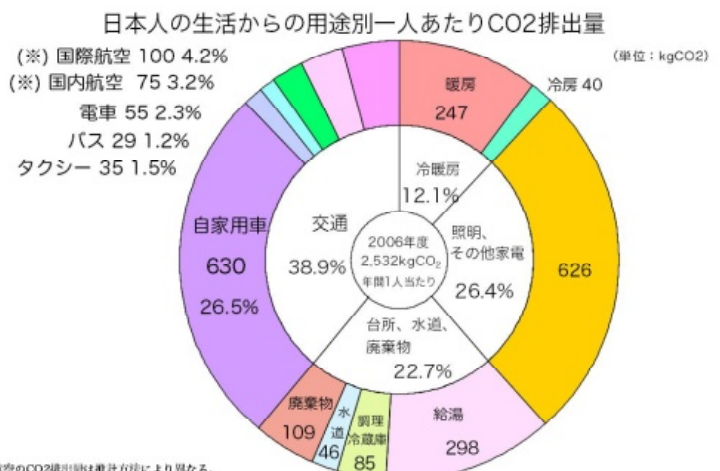
電気を使う作業を早朝や深夜にずらして行う（オフピーク）

ガス機器を使う、夜は家族揃って食事する、時々銭湯へ行くなど

どこから省エネしますか？

地球温暖化対策の観点からも、省エネが呼びかけられてきました。輸入に頼っている石油などを減らすことも重要です。

家庭でできるCO₂削減策と省エネ策はほぼ同じ。右図を参考にして、たとえば照明を全て消すことは難しいでしょうが、クルマをやめて自転車や電車・バスを使うことが出来れば、それだけで25%削減が実現。各家庭の実情に合わせて今すぐ無理なく始められる省エネの方法を選んで試してみてもいかがでしょうか。



※ 国際航空 100 4.2%

※ 国内航空 75 3.2%

電車 55 2.3%
バス 29 1.2%
タクシー 35 1.5%

※ 国際航空のCO₂排出量は推計方法により異なる。

またCO₂排出以外の温室効果を含まない。参考値として参照のこと。

出典：浜中節・他「低炭素社会をデザインする—民衆集約型経済システムからの転換のために」慶応義塾大学出版会、2010年、p.148